

TTC 提案山行実施記録

2022 年 10 月 14 日 T. S 作成

1. 山行名	岩木山[1,625m]・八甲田山[1,584.5m] 青森県
2. 実施日	2022 年 10 月 7 日[金]-9 日[日] 公共交通機関利用+現地:レンタカー利用、2泊3日
3. レベル/参加人員	レベル:★★★ 参加者:12名(男性5名/女性7名)
4. パーティスタッフ	省略
5. 参加メンバ	省略
6. 費用 53,530 円/人 カンパ金:21 円 (新宿発着ベース)	【JR チケット代金(新宿⇄新青森往復、ジパング倶楽部▲30%適用)】 @22,530 【現地発生費用】 8人乗りレンタ: @26,450 * 2 台 = ¥52,900、燃料代: ¥3,279、ドライバ謝礼: @10,000 * 2 台 = ¥20,000、 タクシー代(岩木山頂駅~岩木山神社): 9,780(ジャンボ)+7,540(普通) = ¥17,320、百沢温泉旅館中野: @10,000 * 12 名 = ¥120,000、酸ヶ湯温泉旅館: ¥154,530、飲食費他: ¥2,500、 通信費: ¥1,000、カンパ金: ¥21 合計: ¥372,000 ⇒ 1人あたり: @31,000

7. 歩行/行動時間

	10/8[土]			10/9[日]		
	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動
ガイドブック	5:00	-	-	4:35	-	-
計画	5:50	1:30	7:20	5:05	1:15	6:20
実績	6:13	1:27	7:40	4:50	0:50	5:40

8. 実行コースタイム記録

10/7[金]: 天候: 曇一時雨
小田急 湘南新宿ライン 新幹線 レンタカ
本厚木駅===新百合ヶ丘===新宿===大宮駅===新青森駅===タイムスレンタ===百沢温泉旅館中野
9:48 10:11-15 10:38-51 11:21-46 14:43 15:00-20 16:10 頃

10/8[土]: 天候: 曇のち晴
小休 5' 小休 7' 小休 7'
百沢温泉の宿---岩木山神社---七曲---カラスの休場---鼻コクリ---姥石---焼止りヒュッテ---錫杖清水---
6:30 朝食-7:10 7:30 8:20 8:50 9:00 9:18-23 10:30-41 11:48-12:15
---鳳鳴ヒュッテ---岩木山---鳳鳴ヒュッテ---リフト分岐---岩木山頂駅---岩木山神社---酸ヶ湯温泉旅館
12:45-13:00 13:30-40 14:00 14:15 14:50-15:15 17:35

10/9[日]: 天候: 晴時々曇
酸ヶ湯温泉---地獄湯沢---仙人岱避難小屋分岐---大岳(八甲田山)---大岳ヒュッテ---上毛無岱---
6:45 朝食-7:35 9:15-30 10:15-30 10:53-11:08 11:48-53
---下毛無岱---酸ヶ湯温泉===タイムスレンタ===新青森駅===大宮===新宿===本厚木
12:18 13:15-14:50 16:00-15 16:25-16:38 19:38-53 20:36-53 21:50

9. コースの概要、特記事項、反省事項等

- これまでに台風直撃で2回、コロナ感染症拡大で2回断念した経緯があり、5回目の挑戦で実現の運びとなり、やっと留飲を下げる事ができた。移動日の 10/7[金]は小雨がパラつく天候であったのに対し、山に登った2日間は曇~晴で雨に降られることはなく、更に翌日の青森地方は雨予報となっていた。前後に1日でもずれていたら雨の中を歩くことになっていたことを考えると幸運であった。

【岩木山】

- 岩木山神社からのロングコース設定としたが、焼止りヒュッテを過ぎたころから岩がゴロゴロの沢筋の登りとなり、高度を上げるにつれて斜度もきつくなってきて、特に鳳鳴ヒュッテ~山頂の間は急峻で慎重に歩を進める必要があった。
- 紅葉は色づき始めたばかりだったし、山頂はガスに覆われていて 360 度パノラマビューを臨むことはできなかったのは残念であった。それでも8合目駐車場に向けて下山する頃から晴れ渡ってきて、真っ青な空と海のコントラストが鮮やかであった。岩木山スカイラインを下りる頃には白神山地のやまなみや津軽海峡を挟んで北海道を見渡すことができ、タクシーの運転手さんによると「ここまで綺麗に見えることはめったにないので、よしとしてください」とのことであった。

- このところソウルフードとかご当地グルメにちょっと興味があり、事前調査で弘前市にある『アンジェリックのアップルパイ』が超人気との情報を入手して、立ち寄ることにした。ほとんどの方がお土産に購入されていたが、ボリュームもあってとても美味しく、お薦めである。
- 今回の目玉には紅葉と合わせて“酸ヶ湯温泉のヒバ千人風呂”があったが、白濁の気持ちの良い泉質で、湯治客にも人気が高いことがよく伝わってきた。千人風呂は通常では考えられないほどの大きさの浴槽ではあったが、もっと大きなとか広々としたものを想像されていた方が少なからずおられたのではないかと思われる。

【八甲田山】

- 酸ヶ湯温泉を起点に最もオーソドックスな周回コースを反時計回りに歩く設定とした。これは八甲田大岳から下りてきて”毛無岱”を俯瞰する景色が素晴らしいとのガイドブックやネット情報に基づくものであった。
- 往路の仙人岱避難小屋分岐辺りから見上げる八甲田大岳の手前は、紅葉最盛期には真っ赤に染まるはずであった。ネット情報では八甲田山は”見ごろ”になっていたが、色づきはチラホラ程度で、どこが…？とちょっと悲しい気持ちになった。
- 今回参加された OK さんは、八甲田山で日本百名山完登を達成されるということでエントリーされていた。八甲田大岳に向かって歩を進めている間はガスに覆われて山頂周辺が見えない状態が続いていたが、山頂に着くころにパッと晴れてナイスビューが広がり、天候も完登をお祝いしてくれているようであった。事前に HM さんが準備されていた横断幕を掲げて記念写真を撮り、みんなでお祝いした。
- 下山路では大岳ヒュッテを経て毛無岱に向かうと、まず深く下ることになるが、ここから毛無岱を一望することができる。ここに来てやっと一面に広がる見ごろの紅葉に遭遇することができ、ホッと胸をなでおろした。
- コロナ禍は3年目を迎え、第7波で急激に感染拡大したものの、その後減少傾向にある中での山行実施となった。減少しているとはいえ絶対数は十分に少ないとは言えない状態であり、気を抜くことはできない。メンバの中から「PCR 検査を受けて参加するようにはどうか？」との提案をいただいて、PCR 検査について調べたところ各自治体によって対応が多少異なるようであるが、厚木市の場合は『PCR 検査センタ(中町)』で無料にて手軽に受けられることが分かった。メンバによってそれぞれに条件や立場があることが考えられ、あくまで推奨の形で展開したところ、多くの方から「検査を受けて陰性を確認した」との連絡をいただいた。TTC として、うまく活用することを考えてもよいように思われる。
- 冒頭でも述べたが、この山行は苦節5年目にしてやっと実現することができたが、このような過去事例はないのではないかと思われ、“TTC ギネス”なるものがあつたら登録申請したい気持ちである(笑)。今回は運よく天候にも恵まれ、また終始笑いの絶えない素晴らしいメンバに恵まれ、ほとんど計画通りに進めることができた。参加された皆さまのご協力なしには実現することはできなかつたと感じており、心よりお礼申し上げます。